

オットーボック装具 取扱手引書 ②（製品篇）

8353 ゲニュ ディレクサ / 8368 ゲニュ ディレクサ ステープル

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱手引書①（基本篇）と取扱手引書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。

また取扱手引書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】

『8353 ゲニュ ディレクサ』『8368 ゲニュ ディレクサ ステープル』は膝関節を安定させるための膝装具です。



注意

- 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

【特徴】

解剖学的形状を反映させたデザインを採用し、本体が前面で開放するため、着脱が容易です。本体素材に通気性に優れた吸汗発散素材を採用することで、皮膚表面を快適な状態に保ちます。

8353 ゲニュ ディレクサ：

内側面、外側面のそれぞれにアルミニウム製の2軸の膝継手（ステー）が挿入されています。また伸縮性に優れた2本の周回ベルトが快適なフィット性を高めます。

8368 ゲニュ ディレクサ ステープル：

本体の内側面と外側面には、可動域制限が可能なアルミニウム製の2軸の膝継手（ステー）がそれぞれ挿入されています。また、前面後面のベルトで支持性を高めることが可能です。



8353



8368



注意

- 本製品の本体にはネオプレン素材が使われていますので、装着時間については医師の指示に従ってください。
- 装着部位が保温されることにより不具合が生じる場合には、ネオプレン素材を使用していない他の製品を使用いただくことをおすすめします。
- 天然ゴムまたは合成ゴムによるアレルギーがある場合には、事前に医師に相談してください。

【サイズの選び方】

下記よりサイズを選択してください。

（一箱：1個入り）

ゲニュ ディレクサ	ゲニュ ディレクサ ステープル	サイズ	適用範囲		
			大腿周径(cm)	下腿周径(cm)	計測位置
8353=XXS-7	8368=XXS-7	XXS	36～40	29～32	
8353=XS-7	8368=XS-7	XS	40～44	32～35	
8353=S-7	8368=S-7	S	44～48	35～38	
8353=M-7	8368=M-7	M	48～52	38～41	
8353=L-7	8368=L-7	L	52～56	41～44	
8353=XL-7	8368=XL-7	XL	56～61	44～48	
8353=XXL-7	8368=XXL-7	XXL	61～67	48～51	

・左右兼用

【サイズの測り方】

イラストのように膝蓋骨中心から15cm上の大腿部周径と、15cm下の下腿部周径を測定します。

【調整方法と装着手順】



注意

- 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。

備考

- 本製品を日常的に使用される場合には、適切な装着のためにも、医療従事者、介助者などの補助のもとで装着することをお勧めします。

装着前に取扱手引書①基本篇の【使用上の注意—必ずお読みください—】をよく読み、また、医療従事者による装着手順の指導に従って、正しく装着してください。尚、装着前の調整は以下の順番で行なってください。（写真は右足での手順を示しています。左足の場合はベルトの位置が左右逆になります。）

備考

- 装着者が安全に、かつ適切に装着するために、イスに浅く腰かけて、以下の装着手順を行ってください。

1. 8353 ゲニュー ディレクサ

膝継手（ステー）の調整方法



写真 1-①



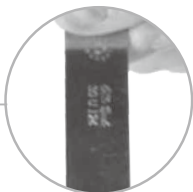
黒色ストラップを引き上げる

- ① サポーターの内外側の鞘（さや）内上部の黒色ストラップを引きあげます（写真 1-①）。黒色ストラップを引きあげることで膝継手（ステー）上部を鞘内のポケット部よりはずすことができます。

膝継手（ステー）を鞘から抜き取り、必要に応じて形状調整を行ってください。



写真 1-②



刻印番号

- ② 刻印された番号が表から見えるように膝継手（ステー）を戻します。黒色ストラップを引きあげ、鞘内のポケット部にもどしてください（写真 1-②）

装着手順



写真 1-③



写真 1-④

- ③ 全ての面ファスナーを開け、膝の後面より本装具をあてます。この時、膝蓋骨が膝蓋骨開放部に合うようにします（写真 1-③）。

- ④ 遠位の面ファスナーをしっかりと留め、次に近位の面ファスナーを留めます。本体素材の伸縮性を生かし、伸ばしながらしっかりと留めてください（写真 1-④）。



写真 1-⑤-1



写真 1-⑤-2

- ⑤ 2本の周回ベルトを遠位、近位の順で留めます（写真 1-⑤-1、写真 1-⑤-2）

全体を強く締めすぎないように注意し、正しく装着されていることを確認してください。

義肢装具士をはじめとする医療従事者は、本製品が正しい位置で装着できるよう調整されていることを必ず確認した上で、使用者に手渡してください。

2. 8368 ゲニュー ディレクサ ステーブル

膝継手（ステー）の調整方法



写真2-①-1



写真2-①-2



黒色ストラップを
引き上げる

- ① サポーターの内外側の鞘(さや)内上部の黒色ストラップを引きあげます（写真2-①-1）。黒色ストラップを引きあげることで膝継手（ステー）上部を鞘内のポケット部よりはずすことができます。

膝継手（ステー）を鞘から抜き取り、必要に応じて形状調整を行ってください（写真2-①-2）。



写真2-②

- ② 「Click 2 Go システム」により、膝継手（ステー）の可動域制限を調整します。

本製品には膝関節可動域を限するために、以下の角度制限用チップ（ROM チップ）が同梱されています。

ROM チップ：

伸展制限チップ（つまみ形状：正方形）： 0°/10°/20°/30°/45°

屈曲制限チップ（つまみ形状：円形）： 0°/10°/20°/30°/45°
60°/75°/90°

【膝関節可動域の角度設定】

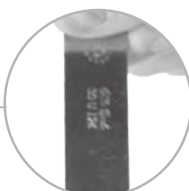
可動域制限に必要な伸展制限チップおよび屈曲制限チップを選択し、それぞれ膝継手（ステー）に挿入します。

伸展制限チップを膝継手前部の差込口に、屈曲制限チップを膝継手後部の差込口にそれぞれ挿入してください。

ROM チップ挿入の際、「カチッ」という音が確認できるまで差込んでください（写真2-②）。



写真2-③



刻印番号

- ③ 刻印された番号が表から見えるように膝継手（ステー）を戻します。黒色ストラップを引き上げ、鞘内のポケット部に戻してください（写真2-③）。



注意

- 膝関節の可動域の調整の際は、必ず両側（内側および外側）で同じ角度設定となるよう『ROM チップ』の設定を行ってください。

装着手順



写真2-④



写真2-⑤

- ④ 全ての面ファスナーを開け、膝の後面より本装具をあてます。この時、膝蓋骨が膝蓋骨解放部に合うようにします（写真2-④）。

- ⑤ 本体下腿部の面ファスナーを閉じ、その後に大腿部の面ファスナーを閉じます。本体素材の伸縮性を利用し、両端を引っ張りながら面ファスナーを留めます（写真2-⑤）。

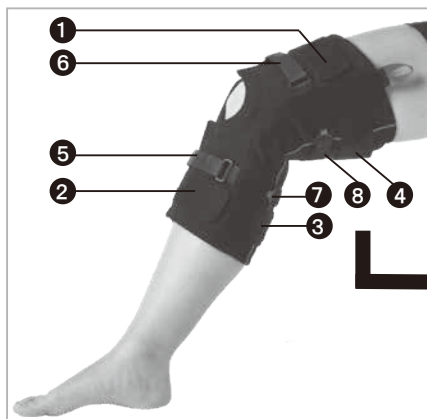


写真2-⑥-1 (内側面)



写真2-⑥-2 (後面)

⑥ ベルトを①-⑧の順番にします (写真2-⑥)。各ベルトは、適度な強さで締めてください。

- ① 大腿前面カフベルト [太]
- ② 下腿前面カフベルト [太]
- ③ 下腿後面カフベルト [太]
- ④ 大腿後面カフベルト [太]
- ⑤ 下腿前面ベルト [細]
- ⑥ 大腿前面ベルト [細]
- ⑦ 下腿後面ベルト [細]
- ⑧ 大腿後面ベルト [細]



写真2-⑦-1



写真2-⑦-2

⑦ 後面のベルトは、医師・義肢装具士のもと、調整してください。必要に応じて、大腿後面ベルト [細] ⑧ と下腿後面ベルト [細] ⑦ を交叉させて使用することも可能です。(写真2-⑦-2)

義肢装具士をはじめとする医療従事者は、本製品が正しい位置で装着できるよう調整されていることを必ず確認した上で、使用者に手渡してください。

備考

- 後面のベルトは最初に調整したらそれ以降は取り外さないで、初回の設定位置のままでご使用されることをお勧めします。

【お手入れ方法と注意事項】

⚠ 注意

- お手入れをされる場合には、取扱手引書 ①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。

- ・ 膝継手 (ステー) を取外してからお手入れをしてください。
- ・ 繊維を傷めたり、伝線やほつれの原因となることがありますので、全ての面ファスナーを閉じてお手入れしてください。

【品質表示】

ゲニュー ディレクサ：

本体：ナイロン、ポリウレタン / 膝継手 (ステー)：アルミニウム

ゲニュー ディレクサ ステープル：

本体：ポリエステル、ポリウレタン、ナイロン / 膝継手 (ステー)：アルミニウム

お問い合わせ先

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.com/ja-jp

〒105-0012 東京都港区芝大門1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F TEL: 03-6739-4090 (代表) FAX: 03-6739-4097

O-tebiki-T-8353/8368-201803-PIT